

八清親和会 自治会役員の一とり言

令和2年9月4日 No22

八清親和会 副会長 吉田祐治

八清親和会の活気みなもとの源は、役員と会員との“透明性・公平・信用”
役員の行事・活動・問題・課題 “取り組みの”真剣・本気度”である。

“木下大サーカス立川公演無料招待券の希望会員への配布に関連して”

よく会社で“上司が気付かないだけで、部下は上司の行動を良く見ている”と言われますが、自治会も同様、

*”会員は三役の行動を良く見ている。知らない、耳に入ってこないのは上だけ“と言うことはありませんか！

*役員と会員との距離が遠くなっていませんか！ あるいは遊離していませんか！

*活動が会員の望んでいるものと乖離していませんか！ 情報が止まっていますか！

今回も八清親和会は、昭島自治連を通じて8月に各自治会長に配られた、木下大サーカスの立川公演期間限定「無料招待券」の全会員への公表と、希望者への抽選配布を決め「木下大サーカス立川公演『無料招待券（招待日限定）5枚』の希望者への抽選配布ご案内」を回覧しています。

今回も、と言うことは、4年前の平成28年に「東京オリンピック・パラリンピックのピンバッジ」が、昭島自治連を通じ各自治会に会員比例に準じた個数が配布された記憶が新しいかと思えます。

当時も八清親和会は、ブロック長への割り当て個数も含め、全会員に公表し、希望者を募り配布しました。

このやり方が会員に好評であり、評価されました。その理由は、会員の中には他ブロックの自治会にお友達や、交流・親睦を図っている方が多くいます。

そして八清親和会の四大大行事には、この会員を通じて多くのお友達など他ブロック・自治会員の来場者があり、これらの会場で、会員から紹介され話をしている時「東京オリンピック・パラリンピックのピンバッジ」や「ブロック対抗スポーツ大会（インドアペタンク競技）」等について、他ブロック自治会のお友達から「八清親和会の会員は良いですね！ 私の自治会はこのような情報は全く入ってこないし、又どのように配られたかもわからない」、インドアペタンク競技についても「私のブロック・自治会はどのように参加者を募集しているのか全く知らないし、どのような方が出場しているかもわからない」と何人かに言われたことが今でも頭に残っています。

このような会員の小さな不満が積もり、積もり、やがて自治会に対する不信や行事活動への興味をなくし、やがては退会につながって行く一要因にもなるのである。

八清親和会は、このお友達の発言を「他人事と聞き流す」のではなく、我が自治会の会員の声として受け止め、しっかり継承しています。

このように役員は、会員への透明性や公平を重んじることで、会員が役員を信用し、役員が会員のために、小さな事にも本気に取り組んでくれている行動が積み重なり理解され、自然に会員の目が自治会に向き、行事や活動に関心を持ち、参加者も増加するのである。これは実感である。

このように会員にとって、当たり前前なのが、当たり前前にできないようでは、自治会員の退会を抑えることや、自治会を活気付けることができるはずがない。自治会役員の皆さん。まずは“あなた自身が変わることであり、自治会運営を『会員の空気をよみ』変えることである”これが自治会の衰退を止め、自治会を活気付ける第一歩である。

同じことが、どこかの上部団体にも当てはまるのではないのでしょうか！ 最初にあげた会社の事例を熟読して見てください。

以上